2　チャネル間隔が三MHzのものにあっては、受信電力が基準感度より一四デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）三MHz離れた周波数において、基準感度より四五・五デシベル高い帯域幅が三MHzの変調された妨害波を加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上 3　チャネル間隔が五MHzのものにあっては、受信電力が基準感度より一四デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）五MHz離れた周波数において、基準感度より四五・五デシベル高い帯域幅が五MHzの変調された妨害波を加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上	相互変調特性 1　チャネル間隔が一八〇kHzのものにあっては、受信電力が基準感度より一二デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）二・二MHz及び（±）四・四MHz（複号同順とする。）離れた周波数において（一）四六デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）の変調のない妨害波及び帯域幅が一・四MHzの変調された妨害波を同時に加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上 2　チャネル間隔が三MHzのものにあっては、受信電力が基準感度より八デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）六MHz及び（±）一二MHz（複号同順とする。）離れた周波数において（一）四六デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）の変調のない妨害波及び帯域幅が三MHzの変調された妨害波を同時に加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上 3　チャネル間隔が五MHzのものにあっては、受信電力が基準感度より六デシベル高い希望波に対し、希望波の周波

	相互変調特性 受信電力が基準感度より六デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）一〇MHz及び（±）二〇MHz（複号同順とする。）離れた周波数において（一）四六デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）の変調のない妨害波及び帯域幅が五MHzの変調された妨害波を同時に加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上